

(S29-32 用)

研究課題名	病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究
研究期間	西暦 2017年 11月 17日 ~ 西暦 2023年 5月 27日 (登録期間: 西暦 2012年 5月 28日 ~ 西暦 2022年 5月 27日)
研究の目的と意義	<p>本邦では年間7万人を超える心臓突然死が発生しています。病院前救急医療の発展により、院外心停止例の社会復帰率は改善していますが、いまだに8%程度と非常に低い。更なる社会復帰率向上のために、病院到着後の集中治療の効果が期待されるが、その治療実態と効果は明らかでなく効果的な治療法、適切な搬送先選定基準は確立されていません。</p> <p>本研究では、院外心停止例の搬送先病院の治療体制及び、低体温療法などの病院到着後の集中治療に関するデータを全国で前向きに登録・分析し、『搬送先病院の選定基準、有効な集中治療など院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療体制の構築を検討すること』を目的としています。</p>
研究方法	<p>日本全域で発生し、救急隊が蘇生処置を実施し、登録医療施設に搬送された院外心停止症例(*院外心肺停止とは、全心肺停止症例のうち、病院内発生的心肺停止症例を除いたものとし、診療所内で発生した心肺停止症例を含みます。)を対象に、介入は行わず、院外心停止発生後の転帰については、病院施設の研究分担者もしくは担当医が診療録から情報を収集して実施します。</p> <p><集積する情報></p> <ul style="list-style-type: none">①基本情報登録②ウツタイン(病院前救護)記録(8)③病院到着後記録④病院到着から退院(死亡退院も含む) / 転院または入院30日までの入院医療費(賛同が得られた一部の施設のみ記録) <p>これらを用います。</p>
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	<p>この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。</p>
問合せ先	京都第二赤十字病院 救急科 (職名・氏名) 部長・飯塚 亮二 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL: 075-231-5171 (代) FAX: 075-256-3451 (代)